

令和6年度 第1回豊田市文化財保護審議会

日 時 令和6年5月24日(金)
午後3時00分から
場 所 豊田市役所 南51会議室

次 第

- 1 美術・博物部長 あいさつ
- 2 文化財課の組織体制について 【資料1】
- 3 議 題
 - (1) 令和5年度文化財課事業報告について 【資料2】
・文化財施設利用状況事業報告 (別紙1)
 - (2) 令和6年度文化財課事業計画について 【資料3】
- 4 報 告
 - (1) 棒の手会館展示リニューアルについて (別紙2)
- 5 その他

豊田市文化財保護審議会委員名簿

任期：令和 5 年 6 月 1 日～令和 7 年 5 月 3 1 日

番号	氏 名	就任年月日	新任 再任	所 属 等
1	阿部 和俊	令和 元年 6 月 1 日	再任	愛知教育大学名誉教授
2	副会長 岩田 敏也	平成 17 年 6 月 1 日	再任	東海工業専門学校講師
3	宇野 真知子	令和 5 年 6 月 1 日	新任	元豊田市立小学校長
4	岡本 大三郎	平成 23 年 6 月 1 日	再任	東海民具学会会長
5	加藤 真司	平成 19 年 6 月 1 日	再任	中部産業遺産研究会
6	北村 和宏	平成 21 年 6 月 1 日	再任	豊田市遺跡調査会調査員
7	会長 後藤 嘉寿美	平成 13 年 6 月 1 日	再任	文化財保存修復学会
8	佐久間 章郎	平成 19 年 6 月 1 日	再任	AT21 倶楽部（足助地区）
9	杉浦 綾子	令和 5 年 6 月 1 日	新任	市民公募
1 0	寺田 重雄	令和 5 年 6 月 1 日	新任	市民公募
1 1	白鳳 明人	平成 29 年 6 月 1 日	再任	豊田市名木愛護会理事
1 2	水野 功	平成 19 年 6 月 1 日	再任	拳母祭保存会顧問
1 3	水野 半次郎	令和 元年 6 月 1 日	再任	（合）瀬戸本業窯 代表社員
1 4	渡邊 健二	令和 3 年 6 月 1 日	再任	豊田市郷土史研究会 会長

（50音順）

令和6年度 文化財課組織体制

資料 1

「豊田市 美術・博物館」

● 転入、異動職員

美術・博物館 部長 ● 森 泰通

美術・博物館 副部長 ● 田境 志保

「文化財課」

■旧郷土資料館 ※（）内は担当名 電話32-6561 FAX34-0095 豊田市陣中町1-21-2 旧郷土資料館内		
課長	児玉 文彦	課全体業務【総括】
副課長	● 赤川 茂樹	文化財業務【総括】、審議会、各種行政計画管理、庁内調整
担当長（文化財保護・活用）	● 太田 吉朗	庶務・予算・決算等【総括】、保存会事務【総括】、施設管理事務【統括】、埋蔵文化財【総括】
主査（文化財保護・活用）	川辺 知子	庶務、補助金（保存維持/顕彰会）、施設管理等関連事務
主査（文化財保護・活用）	市澤 泰峰	有形・民俗文化財、補助金（修理事業）、埋蔵文化財、文化財保存活用地域計画、棒の手会館リニューアル
主査（文化財保護・活用）	安藤 由真	史跡・名勝・天然記念物、建造物、埋蔵文化財、国庫補助、文化財指定等関連事務
■足助分室 電話62-0609 FAX62-0606 豊田市足助町宮ノ後26-2 足助支所内		
室長	井上美知代	足助分室業務【総括】、伝建審議会
主査	下田 節子	足助伝建地区業務（伝建物現況調査活用検討、補助金、現状変更、学習、団体支援）、庶務等関連事務
主査	● 安江 美紀	旧鈴木家住宅保存整備工事・部分公開等関連事務、足助伝建地区業務（技術支援）

◆重点目標

【令和5年度】

(求める状態・成果)

【令和5年度末のミライのフツー】

- ・文化財保存・継承のため、民俗芸能団体等の担い手不足や史跡、天然記念物等の文化財所有者が抱える課題が可視化され、市民に共有されている。

【令和6年度末のミライのフツー】

- ・文化財の価値や魅力が共有され、保存・継承のための緊急的対応が柔軟に行われ、地域で文化財を守り、伝える活動が広がっている。
 - ・「歴史・文化への誇りや愛着を持つ市民」の割合【市民意識調査】の向上（目標値：50%以上）。
- ※「ミライのフツー」とは、豊田市独自のキャッチフレーズで「めざす姿」という意味を象徴的に表している。

(取組成果)

- ・文化財の価値や魅力が共有され、保存・継承の活動に取り組むことができた。また、市史編さん事業の完了と成果の継承、足助の町並み整備や旧鈴木家住宅の保存活用を着実に進めることができた。

◆文化財保護

(1) 文化財等保存維持・修理補助

- | | |
|----------------|--|
| ・有形文化財保存修理 | 5件（猿投神社不動明王立像、守綱寺太鼓堂、六所神社消防設備、足助八幡宮本殿防災施設、隣松寺本堂消防設備） |
| ・有形民俗文化財保存修理 | 4件（西町の山車芯棒、平井町の山車車輪・芯棒、高橋町の山車襖絵、志賀町の山車車輪） |
| ・史跡名勝天然記念物保存整備 | 1件（松平氏遺跡（松平氏館跡）の陥没復旧及び枯損した樹木伐採） |
| ・有形民俗文化財保存維持 | 16件 |
| ・無形民俗文化財保存維持 | 27件 |
| ・伝統的郷土芸能保存維持 | 15件 |
| ・伝統的郷土芸能保存修理 | 2件（鴛鴦祭囃子保存会 長胴太鼓、上郷大成町祭囃子保存会 小締め太鼓の修理及びバチの新調） |
| ・郷土の先人顕彰活動 | 3件（松平親氏、内藤学文、村上忠順） |
| | 総数73件 |

【その他】

- ・「綾渡夜念仏と盆踊り」支援協議会発足と見学バス運行等の行事開催支援（300人）
- ・「百々貯木場」の国指定に向けた、国調査官現地確認による申請内容の精査と補足調整
- ・棒の手会館展示室リニューアルに向けた調査

- ・文化財保護団体、顕彰会等の活動報告会開催（60 人）
- ・大洞のスギ損傷への対応方針決定

（２）史跡・名勝・天然記念物等の保護・活用

【工事・修理等】

- ・曾根遺跡屋外トイレ修繕
- ・曾根遺跡公園西法面排水管修繕
- ・旧山内家住宅法面修繕
- ・杉本の貞観スギ傾斜計測
- ・足助城物見櫓建替修繕
- ・村上家千巻舎石碑傾き修繕



【活用】

- ・市場城の現地・測量調査、講演会の開催

【その他】

- ・二ホンカモシカ滅失個体対応 64 件
令和 4 年度：69 件／令和 3 年度：80 件／令和 2 年度：51 件

（３）埋蔵文化財の調査・整理

【本調査】2 件（令和 4 年度：1 件）

遺跡名	所在地	調査理由	調査面積 (㎡)	主な成果
舞木古窯	亀首町	学術調査	50	古代の窯跡
桜城跡	元城町	緊急調査	830	近世の城跡
計			880	(令和 4 年度：800 ㎡)

【試掘・範囲確認調査】6 件（令和 4 年度：11 件）

林遺跡・百々貯木場・平畑遺跡等範囲確認調査（ほか）

【工事立会調査】51 件（令和 4 年度：74 件）

【手続等】

- ・埋蔵文化財の有無照会 526 件（令和 4 年度：596 件）
- ・発掘届出（93 条・94 条）80 件（令和 4 年度：132 件）

【報告書作成】

- ・日影田遺跡・舞木廃寺

【発掘調査報告書等刊行】

- ・『令和 4 年度市内遺跡発掘調査事業概要報告書』

◆市史編さん事業

（１）『総集編』の刊行

『新修豊田市史 24 総集編』刊行（9 月配本） 900 冊

（２）部会の主な調査等

- ・総集編部会 考古班／古代・中世班／民俗班／建築班／美術工芸典籍班／自然班単位で事典項目・図表・年表の原稿確認・校正作業実施

(3) 市史完成記念イベントの開催

- ・完成記念シンポジウム（市長講演・完成報告・新博物館長講演）
参加者 100 人
- ・市史紹介パネル展示
- ・「WE LOVE 歴史クイズ」の実施
参加者 435 人
- ・「新修豊田市史だより」
特別号の刊行 1,000 部



(4) その他

- ・市史調査資料マイクロフィルムのデジタルデータ化等実施（17,324 コマ）
- ・古文書調査・目録を作成（9,946 点）

◆足助伝建まちづくり事業

(1) 足助伝建地区の修理・修景事業

- ・伝統的建造物群保存地区保存審議会の開催（6 月、1 月）
- ・修理・修景事業実施（2 件）補助額 25,864 千円
- ・現状変更行為許可（20 件）
- ・現状調査結果通知とヒアリング

(2) 足助の町並み活用

- ・足助伝統的建造物群保存地区保存会の活動（5 回）→ 解散
- ・「足助の町並」を活用した学習の実施
足助小 3 回・参加者数 54 人、
土橋小 45 人、新盛小 10 人、冷田小 7 人、御蔵小 5 人
- ・足助町並みサポーター活動（5 回）

(3) 足助伝統的建造物群保存地区防災対策整備

- ・防災部会開催（8 回） 防災訓練（9 月 3 日）

(4) 町並み情報発信

- ・「足助伝建かわら版」発行（4 回）、伝建かわら版編集委員会の開催（4 回）
- ・紙屋鈴木家インスタグラム開設（フォロワー 170 人、投稿 45 回）

(5) 旧鈴木家住宅の保存整備と活用

- ・旧鈴木家住宅保存修理・防災・活用工事実施に向けた文化庁現地指導（2 月）
- ・旧鈴木家住宅保存修理 第 6 期工事（令和 4 年度～6 年度）
第 7 期工事（令和 5 年度～7 年度）
- ・旧鈴木家住宅防災対策工事 第 2 期工事（令和 5 年度～7 年度）
- ・旧鈴木家住宅活用整備工事 第 2 期工事（令和 4 年度～5 年度）
- ・旧鈴木家住宅修理記録映像製作

(6) 旧鈴木家住宅部分公開運営

・公開開始 令和5年8月4日(金)～

【実施事業】

- ① 町民限定部分公開内覧会 7月29日(土) 112人
- ② 特別展「再び時計の針は動き出す」
【期間】8月4日(金)～6日(日)、10日(木)、11日(金・祝)
【期間入場者】740人
- ③ フラワーインスタレーション「align (アライン) -時代をつなぎ未来へむすぶ-」
【期間】11月1日(水)～12日(日) 【期間入場者】1672人
- ④ 紙屋スタディーズ
(ア) 香木の香りを楽しむ間香サロン 11月3日(金・祝) 参加者19名
(イ) 部分公開記念座談会 12月17日(日)
現地参加者50人 オンライン参加者29人
(ウ) はじめての間香体験 3月16日(土) 参加者24名
- ⑤ 工事現場エリア見学ツアー
【開催】毎月第2・4金曜日 10時30分～11時30分【参加者】4回17名
- ⑥ 連携事業
(ア) たんころりんの夕涼み 8月5日(土)～15日(火)
(イ) たんころりんコンサート 8月6日(日)、11日(土)
(ウ) 香積寺晋山式 10月21日(土)
(エ) 歳末大抽選会 12月29日(金)



【風景写真】

左上：たんころりんコンサート / 中央上：晋山式 / 右上：はじめての間香体験
左下：フラワーインスタレーション / 中央下：部分公開記念座談会 / 右下：歳末大抽選会

令和 5 年度文化財施設利用状況

施設名称	活動内容	5 年度 入館者数	4 年度 入館者数
豊田市旭郷土資料館	旭地区各地から寄贈いただいた約 1,500 点の資料を展示	73 人 *3月31日閉館	72 人
豊田市足助資料館	大正 12 年に建てられた愛知県蚕業取締所足助支所を利用し、足助地区の歴史・民俗資料を展示	699 人 *3月31日閉館	1,142 人
豊田市足助中馬館	大正元年建築の旧稲橋銀行足助支店社屋を利用し、商業・金融・交通・町並みなどの資料を展示	9,185 人	9,579 人
豊田市稲武郷土資料館	稲武地区の歴史・民俗資料を展示	4,040 人	4,559 人
豊田市歌舞伎伝承館	市内に伝わる歌舞伎に関連する資料及び小原郷土館より引き継いだ資料の展示、保存会による歌舞伎の公開練習等の実施	8,611 人	12,283 人
豊田市郷土資料館	歴史資料の収集・保存・展示、特別展・企画展の開催。歴史学習・体験講座の開催	—	6,102 人 *9月30日閉館
喜楽亭	挙母下町の町屋建築の保存と伝承のため移築公開、貸出利用	4,302 人	6,853 人
豊田市近代の産業と暮らし発見館	大正 10 年建築の愛知県蚕業取締所第九支所を利用し、明治から昭和 34 年頃までの資料を展示	—	10,514 人 *3月31日閉館
豊田市古瀬間城址公園	古瀬間城址を公開	—	—
豊田市七州城址公園	七州城址隅櫓と渡邊家書院・茶席又日亭の文化的活動への貸出利用	—	—
城跡公園足助城	足助城の高櫓・長屋・物見矢倉・厨（くりや）などの建物を復元・公開	12,992 人	12,037 人
豊田市曽根遺跡公園	曽根遺跡の竪穴建物などを露出展示し、移築された香九礼 1 号墳なども公開	—	—
豊田市藤岡民俗資料館	遺跡から発掘された石器類をはじめとして、藤岡地区の民俗資料や歴史資料などを保管・公開	218 人	909 人
豊田市棒の手会館	400 年の伝統をもつ民間武術棒の手に関する資料の展示と企画展示の開催	10,390 人	13,983 人
松平郷館	松平太郎左衛門家伝来の各種資料と松平郷に関する資料の公開展示	16,943 人	12,494 人
旧松本家長屋門	市指定文化財である旧松本家長屋門の公開展示（土・日曜日のみ）	2,277 人	1,464 人
旧鈴木家住宅	国指定重要文化財である旧鈴木家住宅の部分公開（金・土・日曜日のみ、11 月とおひなさん期間中は毎日）	21,304 人 *8月4日～	—
民芸館・さなげ古窯本多記念館	民芸の基本理念である「衣・食・住」に関わる資料展示や講座等を開催	56,972 人※	46,338 人※
民芸の森	名誉市民・本多静雄氏旧邸。氏のコレクション展示やワークショップ・イベントなどを開催。	18,352 人	21,708 人
合 計		166,358 人	160,037 人

※ 令和 4 年度から入館者積算方法を見直した（各館利用者を合算）

令和 6 年度文化財課 事業計画

◆重点目標

【令和 6 年度】

目標「郷土の歴史・文化・自然を守り伝え、生かすための事業推進」

(背景・経緯)

- ・コロナ禍では人の交流が困難となり、本市に残る豊かな歴史文化や自然を守り育て、継承することの重要性が再認識された。担い手不足等による文化財の保存・継承への課題に対応するための支援や、文化財の価値・魅力の発信に取り組み、市民等と地域総がかりで文化財を保存・継承していく必要がある。

(求める状態・成果)

【令和 6 年度末のミライのフツー】

- ・文化財所有者や活動団体等が抱える課題を可視化し、市民等と共働で適切な支援を行うことで、文化財が保存・継承されている。
- ・文化財を生かした学びの場、機会を提供することで、市民の文化財への関心が高くなっている。

【令和 9 年度末のミライのフツー】

- ・文化財保存活用地域計画により計画的に施策を実施することで、文化財の価値や魅力がより多くの市民に認知され、地域で文化財を守り、伝える機運や活動が広がっている。
- ・[目標値] 歴史・文化への誇りや愛着を持つ市民の割合 53%

◆主な事業計画

(1) 文化財事業

①歴史や文化財の保存・活用と価値や魅力の発信

- ・文化財保存活用地域計画の策定検討
- ・旧龍性院庭園の保存活用に向けた取組
- ・棒の手会館展示室リニューアルに向けた関係団体・地元調整と展示設計
- ・ユネスコ登録「綾渡夜念仏と盆踊り」の担い手育成支援
- ・「百々貯木場」国指定に向けた調査と具申調整
- ・開発等による緊急的な埋蔵文化財等への対応
- ・市場城跡や昌全寺仏像特別公開等、地域や関係団体と連携した文化財の魅力発信
- ・民俗芸能等記録撮影委託（猿投祭り）
- ・稲武橋梁群の登録に向けた支援
- ・足助城整備基本調査(測量・排水計画等)

②文化財を生かした学びの場、機会の提供

- ・公共施設等での民俗芸能の発表の機会の提供
- ・「わかりやすい豊田の歴史」の作成と P R（R 6・7 年）
- ・市史総集編（事典）テキストデータの検索データベースの作成と公開

- ・埋蔵文化財報告書の作成と発掘調査成果のPR
- ・博物館展覧会「旅するジョウモンさん」の中で市内埋蔵文化財の価値の発信と共有

③通常業務

ア 文化財の保存維持・修理（補助事業）

- ・保存維持事業補助団体61件
（有形民俗16件・無形民俗25件・伝統的郷土芸能20件）
- ・郷土の先人顕彰事業補助団体3件
- ・保存修理事業9件（平井町山車車輪・芯棒、高橋町山車襖絵、大洞のスギ伐採など）

イ 指定文化財等に関する学芸業務

- ・個人所有の指定文化財等の管理や調査に関する支援
- ・所管施設（松平郷館、棒の手会館等）の展示管理

ウ 史跡・名勝・天然記念物の保護・整備等

- ・埋蔵文化財業務
埋蔵文化財照会、報告書作成（舞木廃寺・舞木古窯等）
- ・民俗文化財（有形・無形）の保護・継承支援
- ・カモシカ対応
- ・その他建造物・登録文化財の整備、維持管理支援
- ・市民相談案件への助言や支援

エ 文化財施設の適正管理

- ・文化財施設・史跡の維持管理
個別資料館（松平郷館・旧松本家・旧郷土資料館・発見館）、文化財倉庫2か所
史跡公園等40か所（曽根遺跡公園・丸根城址公園・豊田大塚古墳等）

オ 指定管理施設の適正な管理運営

- ・棒の手ふれあい広場、喜楽亭

（2）足助伝建まちづくり事業

①足助伝建地区の制度運用の促進と周知

- ・足助伝建地区の修理修景補助事業の実施
- ・スクールサポート・町並み学習事業の実施
- ・足助伝建かわら版の見直し

②旧鈴木家住宅保存整備推進

- ・保存修理工事、防災対策工事、活用整備工事の実施
- ・庭園整備実施設計の実施準備
- ・旧鈴木家住宅修理工事等映像記録作成と公開

- ・ サウンディングの実施
- ・ 企業版ふるさと納税の PR

③旧鈴木家住宅部分公開運営

【紙屋鈴木家スタディーズの実施】

- ・ 4月21日「久米よし子さんを囲みながら、紙屋鈴木家について語る会」
語り部：久米よし子さん（鈴木家奉公人の子女）
ファシリテーター：堀部篤樹氏
（愛知産業大学通信教育部 建築学科准教授）
（〇〇建築ワークショップ）
- ・ 6月1日「紙屋鈴木家の歴代当主について」
講師：勝亦貴之氏（中部大学 非常勤講師）
- ・ 9月14日「紙屋鈴木家の紙商いとその広がり」
—天竜川水系から矢作川水系、そして城下町名古屋へ—
講師：篠宮雄二氏（中部大学 人文学部歴史地理学科 教授）

【企画展の実施】

- ・ 「足助・紙屋鈴木家 de 端午の節句」 4月19日～5月12日
- ・ 「足助・紙屋鈴木家のおひなさん」 2月7日～3月9日
- ・

【その他】

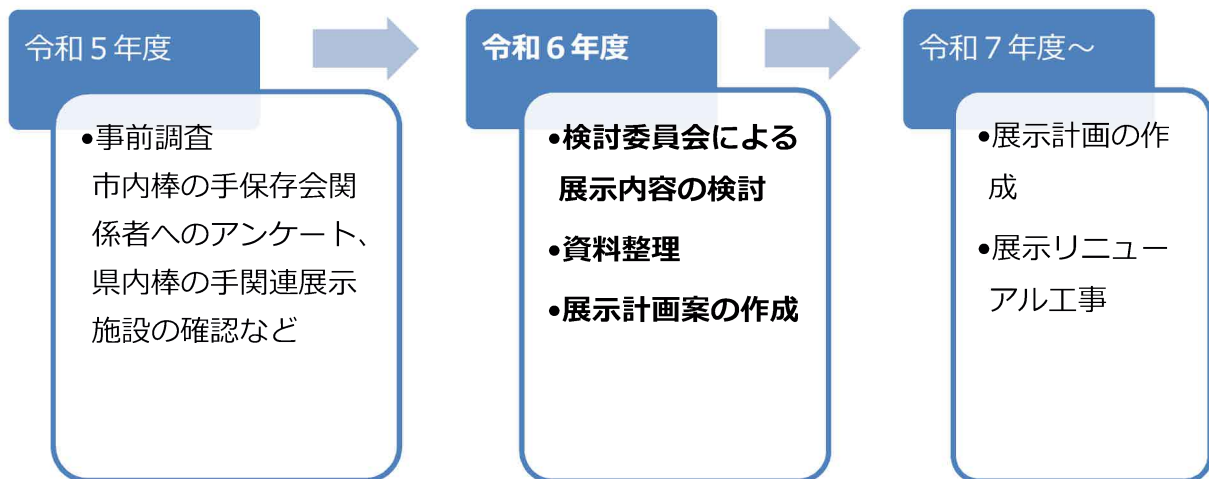
- ・ 工事現場エリア見学ツアーの実施
毎月第2・4金曜日 10：30～11：30 先着6名
- ・ 茶会
- ・ 香イベント

棒の手会館展示リニューアルについて

1 棒の手会館展示リニューアルの目的

豊田市棒の手会館は、既存の建物の老朽化及び、展示手法が長い間固定化されていることに課題があるため、現状の課題を整理し、今後の展示において必要な改修内容を検討しリニューアルする。

2 スケジュール



3 令和5年度調査報告の概要

<棒の手会館の現況と課題>

県内にある棒の手関連展示施設は、どの施設も解説はあるが、簡単な内容にとどまっていることと、解説パネルを読むか映像を見るかの展示手法で受動的な情報展開であり、体験展示などの能動的な手法は無い状況だった。

棒の手会館が他施設と大きく違う点は、棒の手に特化した展示施設となっていることだが、展示内容や手法は他施設と類似している。記録映像をはじめとする資料に関しては他施設よりも数が多いが、整理や分類が必要と課題面もある。

<アンケート結果>

アンケートの対象者：市内棒の手保存会（24団体）の関係者 回答181人

- アンケート回答者の**92%**が「**棒の手継承について困難**」と答え、**73%**が「**担い手不足**」をその理由としている。
 - 回答者の年代分布では**60代～70代**が**全体の約半数**を占め、**担い手の高齢化**が進んでいることがわかる。
 - 棒の手会館で紹介してほしい内容は、上位から「**流派や演技、棒の手をはじめとする猿投の歴史、道具や衣装**」であった。
- ▼
- アンケート結果をまとめると、「棒の手会館」の役割は棒の手の**認知拡大**と棒の手や猿投の歴史・文化を**未来に伝える**こと。